



# 日本の生物多様性地図化プロジェクト

## Japan Biodiversity Mapping Project J-BMP

日本の生物多様性保全と生態系サービスの持続可能な利用をみなさんと主体的に進めていくためには、国土全体にわたる、あらゆる生物の分布情報やそれぞれの生物種の分子系統や機能特性などの情報を、広く共有する必要があります。生物多様性ビッグデータは、保全利用に関わる重要地域を把握する上での基盤になります。これは本ウェブシステムを公開するにあたっての最大の動機です。これまで、自然史に関する研究や環境開発に関わるアセスメントなどを通して、研究者や地方自治体から市民活動まで様々な立場と視点に基づいて、生物多様性の記載が行われてきました。私たちは、これら膨大な記載情報を網羅的に収集分析し、日本全土で1kmメッシュの空間解像度で可視化しました。このような高解像度での保全利用情報の提供は、元となっている生物多様性ビッグデータの質と量、分析テクニックにおいて、世界的に見ても最先端な内容です。本システムでは、単に生物種の数値情報だけでなく、生物群集全体での絶滅リスク回避を目的とした保全優占地域や、生物多様性に関する様々なリスク、生態系サービスに関する情報を整備し、今後さらに内容の充実を図ってまいります。



関連記事

「日本の47都道府県の生物多様性」

note



## 生き物マップ

生物多様性地図の使い方



久保田康裕・楠本聞太郎・塩野貴之・藤沼潤一・鈴木亮・福島新・小澤宏之・宮良工.  
生物多様性地域戦略を空間的保全優先度分析で具現化する：沖縄県の自然保全指針  
作成の事例. 日本生態学会誌 69: 239 - 250.

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/seitai/69/3/69\\_239/pdf-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/seitai/69/3/69_239/pdf-char/ja)

本システムのデータの共同利用はThinkNatureへご相談ください。

